

HONDA®

NEW FT400/500

野性の鼓動。豪快、ビッグ・シングル。



オンで、ダートで、ガッツな走り。 フラット・トラッカーイメージのニュー・スポーツバイク。

なんと形容しよう、この加速感。スロットルを開いた瞬間、図太いトルクがグイと身体を前に弾く。スタート・ダッシュで。コーナーからの立ち上がりで。タコメーターの針はライダーの熱い鼓動を映して躍る。オン・ロードを越えダートへと向う、ビッグ・シングルならではのガッツあふれるその走り。軽快であって強靱さを忘れず。野性味を個性に

しながら、決して荒ぶれない。乗り手の技量に忠実に応える新感覚のシンプル・モーターサイクル、FT400/500。いま、シングルビート・ライディングの世界をひらく。

ON ROAD



FLAT DIRT





ビッグ・トルクを生み出す

4サイクル・4バルブ・2エキゾースト・OHC単気筒。

野性味あふれるブラックカラー。エンジンは見るからに軽量・コンパクトな仕上がりです。「ビッグ・シングルの乗り味をそのままにユースフルなマシンを」FTの設計陣は、この基本コンセプトに基づき、最新のテクノロジーをふんだんに採用しました。定評のXL系エンジンをオン・ロード用にモデルファイした、このエンジンの特長は、まずホンダが誇る精緻な4バルブ・システムにあります。吸・排気各々に2つのバルブを配し、バルブ慣性重量の軽減と吸・排気効率のアップを達成。高い燃焼効率を実現しています。ホンダが初めて採用したデュアルエキゾースト・システムもユニーク。2 into 1で右側にまとめられ、メガホンマフラーへと続くそのエキゾーストはFTのルックスを特長づけるだけでなく、排気効率を向上させ、ビッグ・シングルならではの、中・低速域の図太いトルクをさらに強化しています。また、パイプを2本にすることにより、各々のパイプのRを小さくしてコンパクト化を図りながら、表面積を大きくとり、冷却効率を上げる巧みな設計。さらに、エンジンで最も

高温となる前方の排気部分は、2本のパイプの間に深い凹みを作り、ここへ風を導き冷却するという徹底ぶりです。しかも、専用のカートリッジタイプのオイルフィルターを内蔵したオイルパンにより、オイルは2.4ℓの大容量。オイル劣化を防ぐとともに、冷却効果の向上にも寄与しています。また、フレキシブルで扱いやすいVBキャブレターは低速域でも粘り強さを発揮。加えて、ポイントレスで調整の要らない無接点式CDIをはじめ、オートカムチェーン・テンショナー、ロングライフの530オイル・シールドドライブチェーンの採用など、メンテナンスのラクな設計です。ミッションは5段リターン。シフト・フィーリングもビッグ・シングルにふさわしい歯切れ良さ。中・低速域に重点をおいたギアレシオは、そのエンジン特性と相まって、市街での走りも活発なものにしています。

シングルでは独創の2軸式バランスー。

チェーン駆動による2軸バランスーが、シングルにつきものの振動を大幅に減少。これにより、耐振動性を考慮した重く太いフレームは不要になり、軽くて、スリムでありながら高剛性を誇るFT専用のダイヤモンドフレームを可能にしました。さらに、ラバーマウントされたハンドル&ステップと相まって、パイプレーションによるライダーの疲労を軽減させるのに大きく貢献しています。

FTに初採用ノ2モーション始動機構を装備。

快適な始動をもたらすセルフスターター。

ここでも、80年代のビッグ・シングルをFTは主張します。ビッグ・シングルの強力なコンプレッション・エンジンの始動を容易にするために、ホンダは独自のテクノロジーによる2モーション始動機構のセルフスターターを開発。強力かつコンパクトな12V・14AHユミクロンバッテリー



により、スターターモーターのピニオンギアがエンジンにパワーを伝達するドリブンギアと噛み合う瞬間、その動きをパルス(電気信号)によりコントロール。スターターモーター始動時のショックを大幅に軽

減し、スムーズなエンジン始動をもたらします。しかも、ニュートラルギア、またはクラッチレバーを引いた時のみスターターモーターが作動する安全性を考慮した設計です。

スムーズかつ強力な制動効果を発揮する、前・後ディスク

ブレーキ&デュアルピストン・ブレーキキャリパー。

フロントに296φ、リアに276φの大径フラット・ディスクブレーキを採用。さらに、前・後ともホンダ独自のデュアルピストンキャリパーを装着しました。スムーズかつ強力な制動効果はすでに定評のあるところ。2個のピストンからなる、このキャリパーはパッド面積が大きくとれ、シングルタイプに比べ、パッドをより外周側に配置できるので有効径も大きく、テコの原理により微妙なブレーキングにも的確に反応します。また、ピストンが小さくでき、キャリパーの軽量化にも寄与。バネ下重量を軽減し、俊敏なフットワークにも貢献しています。

オンではシャープに、ダートではワイルドに。

広い行動エリアを駆けぬく強靱なサスペンション。

フロントは37φのフォークパイプを用いた、リーディングアックスタイプのエアアシスト・サスペンションを採用。コイルスプリングに加圧エアをプラスした、このサスペンションは、ストローク初期はソフトに反応し、しかも、全屈しにくいというクッション特性を発揮、乗り心地の良さを生み出しています。●クッションストローク=160mm。さらに、フェンダーの上に、左右のボトムケースをつなぐスタビライザーを装備。大径フォークパイプと相まって、フロント部分のネジレ剛性を高め、ダートでの直進性能をはじめ、操縦安定性を高いレベルで両立させています。また、リアクッションには、ホンダが誇るF.V.Q.ダンパーを装備。ダンパー内のピストンスピードを感圧バルブがキャッチし、路面や走行速度によって絶えず変化するピストンスピードに応じ、減衰力特性が自動的に2段階に変化する理想的ダンパーです。高速走行やコーナリング時には減衰力が強くなりロー



ドホールディングを高め、一方、路面の細やかな起伏やダートの凸凹による振動には減衰力が弱まり、衝撃をソフトに吸収。「機敏な操縦性」と「快適な乗り心地」という相反する条件を巧みに両立させています。そのうえ、ライダーの

好みに合わせてスプリングの硬さを5段階に調節できるアジャスタブル機構付。しかも、このダンパーを倒立型として、バネ下重量の軽減を図った入念な設計です。●アックスストローク=111mm。加えて、リアには剛性の高い角型断面スイングアームを採用。シンプルデザインのリア・キャリパーホルダーや、新開発のチェーンアジャスト機構などの先進装備がメンテナンスをさらに容易にしています。



精悍なフロントビューを印象づける

角型ハロゲンヘッドライト。

精悍な角型のヘッドライトには、60W/55Wのハロゲン球を採用しました。豊かな光量が行く手を鮮やかに照らし出します。





機能的にレイアウトされたメーターパネル。

メーターパネルも角型を基調にしたデザインです。見やすさ優先のスピード&タコメーター。パイロットランプ、メインスイッチもパネル内にレイアウトしました。スイッチ類は左右のハンドル手元に集中配置、チョークノブを含め、すべての確な操作ができるよう、機能的な配列がほどこされています。

イメージはフラット・トラッカー。

そのアビランスは、即、機能を意味する。

極太のタイヤ、スリムなボディ、そしてビッグ・シングル。FTの個性をカタチづくる、このデザインから、アメリカのモータースポーツに精通したライダーは、フラット・トラッカーを連想したことでしょう。ゼイ肉を脱ぎ機能



だけを表現したスタイルは、ビッグでありながら、軽量・コンパクトに仕上がったエンジンのパフォーマンスを

最大限に活かすためのデザインです。ニ

ーグリップしやすいタンクは13ℓ。

車体幅を絞り込んでいるため、

足着き性も良好です。ロードクリアランスも160mmと充分。深いバンク角は、軽い車体とともに、よりアグレッシブなコーナリング性能を発揮します。

また、新デザインのワイドなアルミキャスト

ホイールには、スリムなスタイルと好対照をなす極太チューブレスタイヤ(前3.50S19-4PR、後4.25S18-4PR)を装着。FTのルックスを力量感あふれるものにしてます。さらに、ビッグ・トルクを予感させるメガホンマフラーは、FTオリジナルのブラック・クロームメッキ仕上げです。



これがフラット・トラックレースだ。



ファッション、映画、ダンスのステップにいたるまで、新鮮な話題を次々と提供してくれるアメリカ。モータースポーツに関しても、それは同じ。伝統や格식을重んじるヨーロッパに対して、アメリカのモータースポーツは楽しさに徹している。なにしろ、シリンダーを持った乗り物はすべてチェッカーフラッグの下をくぐらせてしまうのだ。そんなアメリカにあって、いま、大人気を博しているのがフラット・トラックレース。日本でのなじみは薄いですが、AMA公認のチャンピオンシリーズともなれば、観衆の数は5万を超える。エントリー数もばう大。全国各地から腕に覚えのある男たちがおしよせてくる。

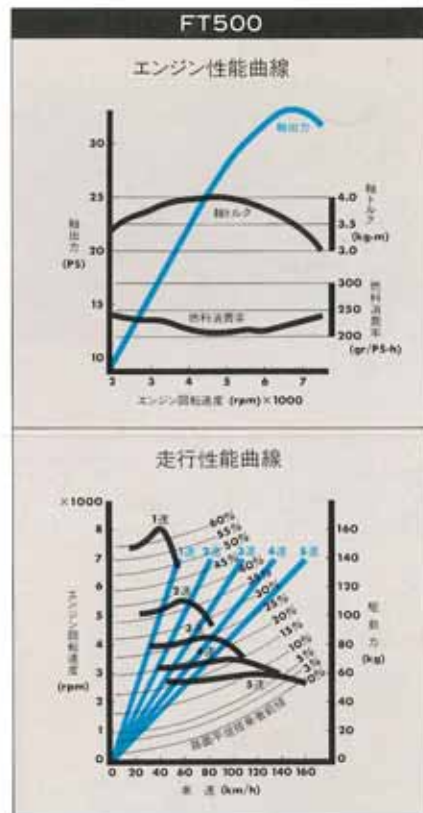
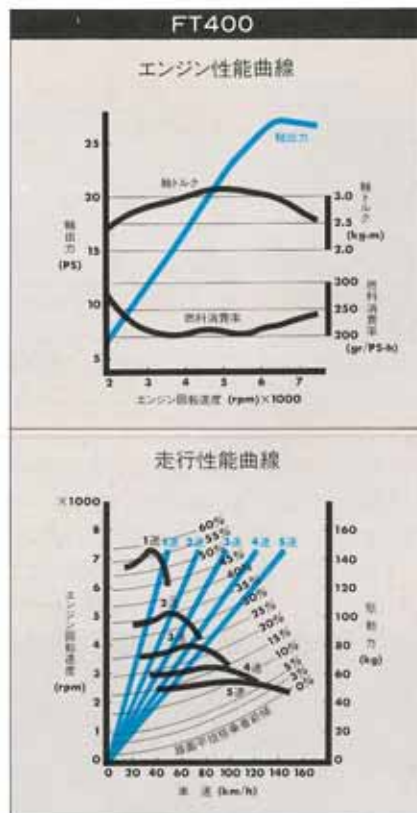
ホンダNS500で活躍するF・スベンサーをはじめ、ここをステップにGPレー



サーへ成長したライダーも数多く、テクニックのレベルは高い。レースは土を固く敷きつめた、左回りのオーバルトラックで展開される。コースは1/2マイルから1マイル(約1.6km)。きついRと、あまりにも短かい直線からなるコースは、おのずとシングルエンジンが有利。一般のレースと違い最高スピードより、強烈なトルクがマシンに要求されるのだ。完全防備のライダーは上体を深く倒し込むため、イン側の足を前に突き出し、フルカウンターのままコーナーを駆けぬけて行く。大観衆は時のたつのを忘れ、男たちの闘志の祭典とオイルの



焼ける臭いに歓喜する。鋭いエキゾーストノート。カクテル光線に浮かぶ土煙。こうした観る者の興奮をいやがうえにも高める現代的な舞台設定のなかに、なぜかノスタルジーを感じる。それはフラット・トラックレースに土の温もりがあるからだろう。



SPECIFICATIONS < >内はFT500	
型式	NC09 (PC007)
全長(m)	2.225
全幅(m)	0.775
全高(m)	1.190
軸距(m)	1.425 (1.435)
最低地上高(m)	0.160
シート高(m)	0.790
車両重量(kg)	170 (171)
乾燥重量(kg)	158 (159)
乗車定員(人)	2
燃費(km/ℓ)	41.0 (38.0) (60km/h定地走行テスト値)
登坂能力(tanθ)	0.46 (約25度)
最小回転半径(m)	2.6
エンジン型式	ND01E (PD01E) (4サイクルOHC4バルブ単気筒)
排気量(cc)	398 (497)
内径×行程(mm)	89.0×64.0 (89.0×80.0)
圧縮比	8.6
最高出力(PS/rpm)	27/5,500 (33/5,500)
最大トルク(kg-m/rpm)	3.2/5,000 (4.0/5,000)
キャブレター型式	VB13 (VB11)
始動方式	セルフ式
点火方式	無接点式CDI
潤滑方式	圧送潤滑油用式
潤滑油容量(ℓ)	2.4
燃料タンク容量(ℓ)	13
クラッチ形式	湿式多板コイルスプリング
変速機形式	常時噛合式5段リターン
変速比	1速 2.461
	2速 1.647
	3速 1.250
	4速 1.000
	5速 0.840
キャスト(度)	29°30'
トレール(mm)	124
タイヤサイズ 前	3.50S19-4PR
後	4.25S18-4PR
ブレーキ形式 前	油圧式ディスク
後	油圧式ディスク
懸架方式 前	テレスコピック(円筒空気ばね併用)
後	スイングアーム
フレーム形式	ダイヤモンド

※定地燃費は定められた試験条件のもとでの値です。したがって、走行時の気象、道路、車両、整備などの諸条件により異なります。※本仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。※車体色は印刷のため実物と多少異なる場合があります。

楽しくバイクに乗るために、ホンダからお知らせ。
身につけよう。安全運転の正しい知識と良いマナー。

バイクには、バイクにふさわしい服装で乗りましょう。
ヘルメットはS、SGマークつきのものを正しくかぶり、あごひもはキチンとしめましょう。また、身体にフィットした長袖、長ズボン、そして動きやすく、目立つ服装を心がけましょう。
HMS(ホンダ・モーターサイクリスト・スクール)で、安全運転の知識と確かな技術を習得しましょう。
乗車技術の脱別審査にチャレンジし、さらに上のクラスの二輪車をめざしたい……そんなライダーのために、鈴鹿サーキットと、交通安全センター「福岡」、埼玉県横川の「レインボー」に(HMS)があります。ここでは、専門のインストラクターが直接指導にあたり、幅広い技術と知識のレッスンをこなしています。受講のお申し込みは、お近くのホンダ販売店へどうぞ。

ホンダ・デートランド「走れる展示場」。
バイクとデート! そんな楽しい気分がバイクにお乗りいただけるのが、ホンダ・デートランド「走れる展示場」です。ファミリーバイクからスポーツバイクまでが常時待機。乗って、走って、比べて、納得のいく一台が選べいただけます。詳しくはお近くのホンダ販売店へお問い合わせください。

素晴らしいライダー仲間「セーフティクラブ」。
仲間と行くツーリングの楽しさは格別です。セーフティクラブは、安全運転の知識と技術を、楽しい活動の中で向上させるクラブです。どなたでもご入会いただけます。なお、ホンダ販売店、ホンダSFでは、同クラブ結成のお手伝いもいたしております。

目で見る安全運転「SAFETY2&4」(ツーランドフォー)。
安全運転の技術と知識を見て読んで身につける楽しい月刊誌「SAFETY2&4」。購読のお申し込みは、お近くのホンダ販売店、ホンダSFへ。

バイクの「何でも博士」が、あなたのお近くにいます。
安全運転普及指導員は、安全な乗り方や運転技術・知識を身につけた、いわばバイクの「何でも博士」です。あなたのお近くのホンダ販売店やホンダSFで、安全運転普及指導員がお待ちしております。

二輪車の〈安全運転〉に関するお問い合わせは、各支店のホンダ安全運転普及本部・地区事務局へどうぞ。

安心のサービスネット——ホンダSFは、全国約210ヵ所。
ホンダSFは全国ネットですから、ツーリングのときでも安心して点検・整備が受けられます。

ふれあいの場所——ホンダSR
二輪車、四輪車、発電機、給油機などホンダが誇る新製品を一堂に展示している、すてきなショールームです。ぜひ一度立ち寄りください。SRは各支店所在地にあります。



さらにビッグ。さらにワイルド。
シングルピートの極めFT500。
最高出力33PS/5,500rpm。
最大トルク4.0kg-m/5,000rpm。
キャリア豊富なライダーに贈ります。

標準現金価格 FT400 ¥423,000 FT500 ¥428,000
(北海道、沖縄および一部離島を除く)

車体色：モンソアレッド

車体色：ブラック



お求めやすく便利に「ホンダクレジット」
をご利用ください。

わずから現金とかんたん手続きで、ホンダのバイクが
お求めいただけます。(クレジットカードはございません)

■ヘルメットを正しくかぶりましょう。■点検整備を忘れずに。■安全のため改造はやめましょう。
●安全速度で走ろう。●カーブではスピードをひかえめに。●追越しは余裕をもって。



HONDA
本田技研工業株式会社
東京都渋谷区神宮前6-27-8

お問い合わせは左記の販売店、または下記へどうぞ。
東京支店 〒150 東京都渋谷区神宮前6-27-8 ☎03(498)3251
名古屋支店 〒460 名古屋市中区千代田1-7-2 ☎052(261)2671
大阪支店 〒530 大阪市北区南堀町7-31 ☎06(313)1171
九州支店 〒812 福岡市博多区福岡町8-7 ☎092(291)5131
仙台支店 〒980 仙台市土樋1-11-2 ☎0222(255)6171
北海道支店 〒060 札幌市中央区北1条西7-1 ☎011(251)9231